

ジャパンフラワーセレクション・オータムショーin 立川 切花部門・鉢物部門の審査会を国営昭和記念公園で開催し、 切花部門 27 品種・鉢物部門 16 品種が入賞。

JFS 受賞マーク
=草かんむりマーク

1. 概要

10月27日国営昭和記念公園内の花みどり文化センターでジャパンフラワーセレクション切花部門・鉢物部門の審査会を実施し、切花部門27品種・鉢物部門16品種が入賞に選定されました。本審査会は、今年春からスタートした花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」の切花部門・鉢物部門では春に続き第2回目の審査会です。今回「入賞」した品種は今後「JFS 受賞マーク」を表示して販売することができます。また、11月の中央審査委員会で年間を通じて決定する「フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)」「ベスト・フラワー(優秀賞)」「特別賞」の選定にノミネートされます。

■審査対象

春に続き実施された切花部門・鉢物部門のオータムショー出品品種を審査しました。

出品品種数 55品種 (①切花部門 36品種、②鉢物部門 19品種) うち

入賞品種 43品種 (①切花部門 27品種、②鉢物部門 16品種)

■審査委員

国内の花き業界を代表する学識者、花の市場関係者により公正な視点で専門的に審査を行ないました。

① 切花部門 5名

今西 英雄	東京農業大学農学部 教授
大川 清	静岡大学 名誉教授
宍戸 純	株式会社大田花き 商品開発室長
奥田 芳彦	株式会社なにわ花いちば 営業推進部長
小泉 徹	株式会社白楽花園 代表取締役

② 鉢物部門 5名

長岡 求	株式会社フラワーオークションジャパン 取締役
伊藤 博史	グリーンコーディネータカレッジ 校長
米田 勝	株式会社花ぬすびと 代表取締役
長村 智司	大阪テクノ・ホルティ園芸専門学校 校長
金子 彰五	吹上花園 店主(社団法人日本生花商協会 常務理事)

2. 入賞品種、受賞者は別紙

3. 審査委員講評

■切花部門

今回の出品では、魅力ある多様なバラの品種が多く入賞する結果となりました。クリサンセマム(キク)は、従来にない小さな花で30輪近い花をつけ、多目的に使えるマティバシリーズが注目を引きました。ユリは小輪・多花で斑点の少ない花色の品種に審査員の関心が集まりました。オキシペタラムは丸弁、純白、上向きに咲く魅力的な品種が出品されており高い評価となりました。

■鉢物部門

19点中16点が入賞となった。出品された品種はいずれも新規性があると判断され、多くの品種が入賞の結果となりました。特に、高得点を獲得した上位の品種は見る人を驚かすほどの新規性をもっています。

入賞品種の中から、2006年11月の第1回フラワー・オブ・ザ・イヤー決定!

■内容のお問い合わせは、ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局

〒103-0004 中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階 (財)日本花普及センター内

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp <http://www.jf-selections.net>

■当日の取材については、「花みどり文化センター」会場内事務局(研修室2階)に直接お越しく下さい。

当日連絡先: 042-522-0357 (JFS 現場事務局)